

くすり一口メモ

食物アレルギーと薬

食物アレルギーとは、食物およびその添加物を摂取することによって生体に惹き起こされる傷害性の反応です。抗原物質が口腔，食道，胃および腸粘膜で抗原抗体反応を起こし，その局所に発症する場合と，抗原物質が吸収されて血液および他の臓器で抗原抗体反応を起こし，全身症状を発症する場合とがあります。また，食物そのものは抗原性をもちず，消化管で消化されたり，吸収後変化したりして抗原性を獲得し反応する場合も考えられます。

臨床症状は多彩で，下痢や嘔吐などの消化器症状，湿疹や蕁麻疹などの皮膚症状，喘息や鼻炎などの呼吸器症状のほか，頭痛，微熱，動悸，まれにアナフィラキシー様の全身症状を呈します。

抗原となる食物は種類が多く，ほとんどすべての食物がアレルゲンとして作用すると考えられます。抗原性の強弱はありますが，一般に抗原性の強い食物として，牛乳，卵，そば，鯖，鰯，エビ，タコ，イカなどがあります。

数ある薬剤の中には，成分中に食物およびその添加物を含むものがあり，その食物に対してアレルギーのある患者には投与禁忌となっています。そのなかから，牛乳，卵アレルギーに禁忌となっている薬剤を以下にまとめました。

食物	薬効分類	商品名	禁忌の理由
牛乳	整腸剤	アンチビオフィルス エンテロノンR エントモール ラックビー ラックビーR	安定化剤として脱脂粉乳を使用しているため
	経腸栄養剤	ラコール クリニミール ベスピオン ハーモニックF，M エンシュア・H エンシュア・リキッド	牛乳由来のカゼインが含まれているため
	肝不全用経腸栄養剤	アミノレバンEN	
	抗生物質	メデマイシンカプセル メイアクト	添加物としてカゼインを含有しているため
	止瀉剤	タンニン酸アルブミン	乳製カゼインが原料のため
	制酸剤	ミルマゲ	
	カルシウム拮抗剤	エマベリンLカプセル	添加物としてカゼインを含有しているため
卵	消炎酵素剤	ノイチーム レフトーゼ アクディーム	成分が卵白由来の蛋白質のため

このほかにも禁忌ではないが，成分中に食物およびその添加物を含むものがあり注意が必要であると思われます。

<参考文献> 水島 裕；今日の治療薬2003（南江堂）
第26版医療薬日本医薬品集（じほう）
（鹿児島市医師会病院薬剤部 島本 恭子）